



第 29 号

花だより

平成 28 年 8 月

発行：安佐南区花いっぱい運動推進委員会事務局(安佐南区地域起こし推進課内) ☎ 831-4926 FAX 877-2299



【推進委員会事務局】

松島先生の

園芸作業 12 カ月



—きれいな花を咲かせよう！

花を長く育てていると、株姿が悪くなり、きれいに欠けた花に育ちます。こうした花を再生するため、切り戻し作業を行います。

切り戻しは、悪条件で生育の負担を軽減させ、花の寿命を長くし、花を長期間楽しむための大切な作業です。

また、秋蒔きの花は、8月20日頃から9月上旬が種まきの時期です。種蒔きが遅れると、年内の定植が間に合いません。適期の種蒔きが大切です。



【祇園西支部】 報告者：境 幸美

プランターや鉢の古土の利用

梅雨が明けて、カンカン照りの日が続きます。古い土の再生にはこの時期が絶好のチャンスです。古土は乾燥させて、ふるいにかけて、根やごみ、石などを取り除き、ビニール袋に入れ口をしっかりと縛って夏まで保管しておきます。

夏になったら土に水を含ませ、手で握ると型ができるくらいに全体を湿らせ、口をしっかりと縛り密閉し、直射日光のあたるところへ置きます。コンクリートや鉄板など高温になるところのほうが効果があります。土を湿らせることにより、袋の中が一層高温になり、殺菌・殺虫できます。こうして再生した土は、新しい市販の培養土に半分くらい混入して使用します。

祇園西公民館の花壇の一部を「絆花壇」に登録

安佐南区役所では、平成26年8月20日豪雨災害の犠牲者を追悼するため、区内の小学生と地域の皆さんが協力して、被災地を夏の花マリーゴールドでいっぱいにする「絆花壇」づくりに取り組んでいます。子供たちに災害の記憶を伝えるとともに、防災・減災に向けた地域の絆を深めます。

7月20日、山本小学校の生徒たちが種を蒔き、育成したマリーゴールドの苗80本を定植、絆花壇の看板を設置しました。



【マリーゴールドの苗】



【絆花壇のプレート】

夏の暑さに負けないようにしっかり管理し、花をいっぱい咲かせようと思います。

水遣りの基本と留意事項

盛夏期を迎え、この時期はガーデングに携わる者にとって、花木に対する暑さ対策とともに水切れに注意することが必要です。「水遣り」は、ガーデングの基本中の基本であり、水遣りを制することができれば、一人前のガーデナーといえるのではないのでしょうか。

今回は、ガーデングの基本である水遣りと留意事項を取りまとめたので参考にしてください。

○ 水遣りの役割りとは？

水遣りの役割りは、次のとおりです。

- ・植物に水を吸収させる
- ・水とともに、根が呼吸するのに必要な酸素を供給する
- ・葉に付着した埃などを落とす
- ・高温期には、葉や土の温度を下げる



○ 水遣りは、何時する？

「水遣りは朝のうちにする。」が基本です。

暑い夏の盛り、鉢植えなどは、朝たつぷり水を与えても夕方には、すっかり鉢土が乾いていることがあります。このような場合は、夕方にも水遣りをしましょう。また、暑くなった地温をさげる効果のある「打ち水」も、夕方行いましょう。暑い日中では、根が煮えてしまいます。

○ どのように与える？

鉢植えの場合、「鉢土が乾いたら、鉢底から水が流れ出るくらいにたつぷり与える。」が基本です。注意したい点は、ゆっくり灌水することです。

ジョーロなどで頭から勢いよくかけると水は鉢土の表面から鉢の内側表面を伝ってすぐ流れ落ちてしまい、肝心の鉢中心部には行き渡りません。また、長い間水遣りを繰り返すことにより、鉢土表面が固くなり、さらに水がしみこみにくくなります。細口の水差しなどで株元からゆっくり優しく灌水しましょう。

花壇・庭の場合は、鉢植えのように毎日水遣りする必要はありませんが、雨がしばらく降っていない場合や、土の表面にヒビが出た、土を掘ってみてもパサパサ...というのは、明らかに水分不足です。水遣りが必要です。この場合、ジョーロでさっと水をまくだけでは、濡れるのは土の表面だけで土中には行き渡らずすぐ乾きます。散水ホースなどを上手に使うと鉢植えと同じようにじっくりたつぷり水遣りをしましょう。

大塚公民館での花づくり

今回は市内で一番新しい大塚公民館での花づくりを紹介します。

大塚公民館は開館4年目を迎えますが、この公民館での花づくりは初めてです。順調な時もあればそうでない時もあり、いろいろな苦勞もありましたが、今はベゴニア、ダリア、マリーゴールドなどが花壇いっぱい咲いています。

緑のカーテンは、なた豆をはじめ、アサガオ、ゴーヤ、去年のこぼれ種からとれたふうせんかずらなど、もりだくさんです。

私が花づくりで一番大切にしている言葉は、『植物に携わる者は、未来を担う』という言葉です。

今後もこの言葉を忘れずに、種から育てる花づくりを続けていきたいと思います。



【マリーゴールドと緑のカーテン】

【番外編】安佐南区役所の花壇は夏花の花盛り

安佐南区役所の花壇は、安佐南区花いっぱい運動推進委員会のスタッフが、種を蒔いて花苗を育て、花苗の植え付け、水遣り、草取り等の作業を行い、綺麗な花を咲かせて区民の皆さんに鑑賞して頂けるように努めています。

現在、この花壇には、マリーゴールド、サルビア、ダリア、トレニア、ジニア、千日紅、メランポジューム、コキア、コリウス等の多種類の夏花を植栽しており、多くの花が見頃を迎えています。区役所にお出かけの際は、是非、花壇の花を鑑賞してください。



【安佐南区役所のモデル花壇】